

# 令和2年度 地域のまちづくりびと講座

緑区徳重支所の「ユメリア徳重開設10周年事業として行う「緑区まちづくりスキルアップ塾（徳重塾）」を共催で行い、これをもって令和二年度の「まちづくりびと講座」としています。

## 第5回目

日時：令和3年3月21日（土）

時間：10:30～16:30

場所：ユメリア徳重 体育室

講師：釘山健一さん & 小野寺郷子さん

（一般社団法人会議ファシリテーター普及協会  
代表・副代表）

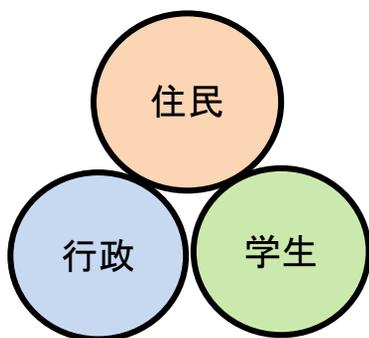


「楽しい雰囲気・いいムードの中で対話をしたほうが、成果がでる！」

脳は、雰囲気で考える！

第5回は「さくら」

ピンクがちらほら。中には、背中に桜吹雪が咲いている方もみえて、お祭りムード、最終回にふさわしい華やかな雰囲気の会場でした。



本講座の一番の特徴は、何と言っても参加者が「住民・学生・行政」の三者で構成されていること。多様な塾生たちが、一緒に語り合い、あふれるアイデアから、緑区でできる具体的な活動を実践することを目指します。

第5回目は、コロナの影響で一回減ったため、最終回。来年度の実践に向けて、ワクワク・ドキドキの気持ちが満ちた体育館で、今日も楽しく中身濃く！！

第五回は「**事業テーマを絞り込み事業テーマごとの事業計画を**」というテーマで、前々回のアイデア出し、前回の具体化・身の文化から、さらに「本当に実現できる」レベルへと事業計画を昇華させていきました。

まずは見てください、みんながまとめた企画です



どんなに小さなことでも、まずは、やってみる

最終回の今日、講師の釘山さんから事前に「具体的にイメージできるものを持ってくるように」との指示が。地図や、衣装、防災用品にグルメ本…しかし、どうしていいかわからずなかなかエンジンがかからないグループも。そんなみんなに、講師の釘山さんは「とにかくやってみる！現地に行ってみる！」そこで、かぶとを取り合う鬼ごっこを企画したグループは、持ってきた新聞紙で実際に兜を折って、それをかぶって走ってみました。そうしたら「風で飛んでしまう！」ということに気がついて、帽子の改良を考えているうちに、企画がどんどん練れてきました。「具体化の力、小さなことからとっかかり」、それが、夢の実現へとつながるのだと、実感しました。

企画を具体的に書いてみたら、それが、伝えたいことでした

いつやる？何時から？朝方のほうが涼しくていい？公園の中のどこ集合？持ち物は？お昼ご飯は・・・？なんて、どんどん具体的に考えて、模造紙を埋めて行ったら、それは参加者に伝えたいこと、チラシになりました。それぞれのグループが夢と工夫を詰めたチラシが出来上がったのです。そして、各グループの発表をきいたみんなが、「それ手伝える！わたしこんな人知ってる！こうやればできる！」と、知恵や人脈を持ち寄って、ふせんがどんどん増えるのは圧巻でした。グループの力に、参加者全体の力が足されて、ますます「できるような気がしてくる」のでした。中には、第一回目の日程を決めて発表したグループも。ここまで来れば、もう紙の企画ではありません。

そうです、徳重塾は、理論を学ぶ講座ではないのです。一步を踏み出し、実践する講座なのです。来年度はさらに楽しい、実践です。講座のメは、参加者のうち既定の出席回数を満たした皆さんに、「認定証」が授与されました。これからも、徳重を、緑区を盛り上げてください。「課題は、夢の上塗りで解決する！」のです。